

なばり市議会だより

no. 63

平成24年1月
発行 ■ 名張市議会

● 議会広報特別委員会 ● 三重県名張市鴻之台 1-1 ● 電話 63-7834~5 FAX 64-8870 ● gikai@city.nabari.mie.jp



消防団年末特別警戒

新年のごあいさつ



あけましておめでとうございます。
市民の皆さまには、平素から、名張市議会に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、名張市においては、長年取り組んできた行財政改革が最後の山場を迎えるなか、市民ニーズは増々多様化し、多くの課題も抱えているのが現状であります。

そうした中、議会では、さらなる改革のため、議会改革検討準備委員会を立ち上げました。また、開かれた議会を目指し、積極的に市内各地へ出向く懇談会も予定しております。さらには、名張市議会議員政治倫理要綱も作成いたしました。

このように、名張市議会といたしましては、市民の皆さまにとって本当に暮らしやすいまちづくりの実現のため、さらに自らを律し、市民ニーズを的確に把握しながら、議決機関としての役割を果たすため、全力で取り組んでいく所存でございます。

本年も、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご健康とご多幸を心からご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

名張市議会議長 福田 博行

平成23年度補正予算など15議案を可決

平成23年度補正予算など15議案を可決

12月定例会(第349回)は、12月2日開会、12月20日閉会の19日間の日程で行われた。

提出された議案は、平成23年度一般会計・特別会計・企業会計の補正予算6件、名張市事務分掌条例「名張市農業集落排水処理施設の設定及び管理に関する条例」等の条例改正4件、市道認定1件、人事案件2件、議員提出議案2件の全15件である。

議員提出議案は、防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書・国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書の2件である。

これらの議案は、本会議・常任委員会で慎重に審議し、15議案を原案どおり可決した。

一般会計は3日間行われ、10議員が登壇し、市政全般にわたり活発な質疑がなされた。

補正予算

一般会計の補正予算は、7億2210万円の増額補正で、平成23年度補正後の予算は、265億1620万円となった。歳出の主なもの、定年退職に加え、勧奨・普通退職者が増えたことによる退職手当の増と、人

件費の精査で、3億2482万円の増額。待機児童解消のため民間保育所措置費や扶助費など2億784万円の増額である。歳入の主なものは、東日本大震災をうけて、バイオマス関連交付金1億2000万円が減額となった。たばこ税は6千万円の増額である。

特別会計補正予算では、国民健康保険で、人件費の精査と保険給付費などの追加で、2億6780万円の増額。公共下水道事業・介護保険の2特別会計は、人件費の精査で970万円の増額。後期高齢者医療は人件費の精査で142万円の減額である。企業会計における補正予算は、水道事業会計で、人件費と事業費の精査による減額である。

一般質問

提 尊 掲
問 は 議 員 か ら
出 さ れ た 原 文 を
重 し、 編 集 し て
載 し て い ま す。

「公明党」富田真実
DV被害者支援

答弁 カウンセリング検討

Q DV(※)の相談で、心のケアを必要とした事業が今までなかったのか。児童虐待とも密接な関係がある。DVを増やさない取組みと、今後の対策を問う。

A 平成23年度から相談員を1人増やした。県と共同で、パネル展示や街頭などでの啓発をしている。現在、県からの委託事業によるカウンセラーの配置について研究・検討している。

独居高齢者の安全

答弁 日常的に進める

Q 高齢者の孤独死や緊急時の対応はできているのか。見守り支援体制として取り組んでいる「地域あんしんねっと」を早期に進めていく必要があるが、進捗状況を問う。

A 名張市緊急通報システム「あんしん」の制度がある。まちの保健士の専門職員や民生委員が、対象者のところへ定期的に訪問している。「向こう三軒両隣」といった近所間での見守り体制を構築する「地域あんしんねっと」を日ごろから進め、5年間の計

画を早期に進めたい。

「心風会」川合滋
地域文化の保護

答弁 達人の認定制度を

Q 文化財は地域の宝だ。大切に後世へと引き継がなければならぬ。近年、名張市文化振興審議会が開催されていない。指定文化財保護の現状はどうか。新たに、有形・無形・民俗を問わず文化財指定を考慮すべきだ。

A 文化振興審議会は平成8年に開催して以来開いていない。現在名張市の指定文化財は、国・県・市で81件指定されている。今後、安本龜八作の人形や、市内各神社に伝わる獅子神楽、名張音頭など後世に伝えるべき文化財を指定の可能性も含め検討していく。地域資源の活用・伝承として、火縄つくり・伊賀組紐・伊賀焼きなど、伝統技術の達人認定も検討していきたい。



小波田の火縄

校舎整備計画

答弁 耐震補強工事を先行

Q 最も新しい百合が丘小学校が築後20年以上経過している。市内の多くの小中学校は昭和40年代後半から50年代前半に改築・新設されている。コンクリート構造物の耐用年数が60年とされている中で老朽化が

著しい。平成23年の台風により、多くの学校で雨漏り被害などが出た。耐震補強工事が順次行われているが、老朽化への対応も急がれる。

A 今後10年間をかけたさらなる耐震補強工事を実施する予定だ。耐用年数も迫ってくるが、小中学校規模・配置の適正化基本方針ともリンクさせ、改築も含め整備計画を確立していく。

「日本共産党」橋本マサ子
安心できる介護保険

答弁 機能充実を図る

Q 認知症対応型の施設や小規模多機能型施設などを、日常生活圏域ごとに整備してきた。施設ごとの特色を生かしながら、一定のケア環境を保つことが必要だ。事業所同士の交流会などを行い、サービスの平準化を求める。対象者が増える中、まちの保健士の体制強化も必要だ。介護保険料の見直しでは、平成24年度から千円前後の引き上げが見込まれているが、県市が保有する基金を取り崩し、保険料の値上げを抑えることを求める。

A 多様な介護サービスを提供できるように、事業所間の交流を検討する。まちの保健室は機能充実を図り、職員への対応も行う。介護保険料は、軽減できるよう検討する。

広域消防での不安

答弁 職員の意見を反映

Q 消防の広域化が検討されている。消防組織法の改

正時には、市町村の自主性や現職消防職員などへの情報開示と意見の反映が求められている。住民や職員が情報を共有し、現在の消防体制を総点検した後に、今後のあるべき姿を見いだしていくことが必要だ。職員へのアンケート実施状況と消防力の整備、伊賀市との違いはどうか。広域化による消防署の役割や将来像を問う。

「清流クラブ」高田稔嗣
人工林への支援を

答弁 行政支援をする

Q 台風12号による紀伊半島3県の被災がフローズアップされた。名張市においても、人工林などの管理不十分のため、がけ崩れや地滑り、土石流など森林による防災機能が失われようとしている。そのため耕地や住宅が被災しやすい環境へとなは大きく変化している。小規模林家は管理が行き届かなく放棄されてしまふ恐れがある。市として大きな危機管理が見落とされているのでは。行政支援を問う。

A 小規模林家の経営意欲が低下している。名張市としてモデル的に、緊急間伐支援を最少面積10アール以上で、平成23

年度希望者を募って実施したい。

被災家屋の撤去支援

答弁 23年度中に施策を

Q 被災家屋などの被災廃材廃棄支援に対し、平成22年6月議会、市として最終処分場は持たないが、被災者に負担のないよう支援に取り組みと答弁した。現状は被災廃材などの搬入者への対応が厳しい状況にある。23年9月議会において、受け入れ検証を踏まえ、年度内に救済方策について指示した報告を受けた。どのような支援策を検討されているのか。

A 被災廃材などの受け入れに立った支援ができるよう、現在検討している。年度内には示したい。

「心風会」森脇和徳
観光施策の充実を

答弁 さらに充実を図る

Q 名張牛汁が中日本・東海B・1グランプリで優秀な成績を収めた。東海地方などからたくさんのお客様が名張を訪れてくれているようだ。その皆さんにさらに名張市の魅力を発信する方法をどう考えているのか。伊賀牛の素晴らしさをアピールするのはもちろんだが、戦略を練り次なるステップにつなげて、新しい観光ルートを開発するなどして、訪れた方々に名張市の良さを発信していく必要がある。

A 訪れてくれた観光客に名張市の自然・グルメ・歴史などをアピールして当市の魅

力を十分に発信したい。広い視野を持って観光客に喜んでもらえるよう観光戦略を考えていきたい。

3センターの進捗は

答弁 一体で整備する

Q 総合教育センター・子ども発達支援センター・療育センターの整備は市民にとって希望の光だ。この整備方針について、平成23年度に子ども発達支援センターの整備費が3000万円を予定していると2月に議会へ報告があった。当初予算で150万円が計上された以降、補正予算も注視されているが、残りの関連予算があがっていない。総合教育センターも含めてどのような整備計画を考えているのか。

A 総合教育センターと子ども発達支援センターは一体で整備していくのが望ましいと考えている。交渉事もあり報告できるまでしばらく待つてほしい。

「清流クラブ」常後朋子
フックスター事業

答弁 今後も発展と継続を

Q 平成17年6月から「名張市フックスター事業」が7年間継続されてきた。赤ちゃんとコミュニケーションを図る上で、重要な事業であると考えられるが、ボランティアの皆さんの協力のもと利用状況とその効果、今後の方針は。

A 7年間で平均71・3%の家庭にご利用いただいで

※DV…配偶者や内縁関係の間で起こる家庭内暴力

いる。23年度から通知はがきを再送付し普及に努め、事業費の増額となった。親子のコミュニケーションは、就学前教育・保育の大きな課題であり、アンケートでも99%の皆さんに高評価を得ており、今後もボランティアの皆さんのご協力を頂きながら積極的に取り組む。



ブックスタート事業

二次救急医療の現状
答弁 改善に向け検討中

Q 名張市の二次救急医療の問題点は、搬送時間と受け入れ先である病院の医師の確保であるが、伊賀地域の三病院で対応できかねている状況をどのように解消していくのか。

A 伊賀地域の医療体制が、危機的な状況である中、当市の200床という病院規模で全ては対応できない。自治体医療の最大の課題は、二次救急医療を守ることであり改善策は常に検討し、医師の確保に取り組んでいる。伊賀地域・県内・県外のバックアップ病院を含め、県境を越えた医療連携の強化の充実に向け取り組んでいる。平成23年12月から、医師の処遇改善のモデル事業も実施している。

「清流クラブ」田舎家
墜落防止措置必要
答弁 活動内容を考慮する

Q 名張市の消防団のヘルメットは、飛来物からの保護・感電防止になっているが、墜落時保護用にはなっていない。県下でも、松阪市や明和町は墜落時保護用ヘルメットだ。大きな災害が起こった時、高所作業は必要になる可能性がある。団員の命を守る装備をしろ。

A 現在、消防団の活動内容を精査しながら、装備をどうするのかの検討をしている。高所の作業が必要と判断した場合は、墜落時保護用のヘルメットに換える。



現在の消防団ヘルメット

固定資産評価
答弁 問題の箇所は修正

Q 平成24年度は固定資産の評価替えの年だ。名張市には、約440カ所の基準宅地、約3700本の路線価があるが、住宅地にあるのが他市より多い。近隣の土地なのに価格差のある箇所がある。どのような基準で評価をしているのか。

A 他市の状況を見ながら、基準宅地や路線価の見直しを検討している。隣接する土地の価格差についても、状況類似を調査し、価格のバランスを考え、適切な価格を検討する。

「清風クラブ」吉田正己
グラウンド活用計画
答弁 地域・各団体と協議

Q 旧青蓮寺清掃工場に隣接するグラウンド・テニスコートは、現在休止中である。ストックヤード完成後の整備や有効活用はどのように計画されているか。

A グラウンド・テニスコートの整備と活用計画は、4月から、地域づくり委員会や各種団体と協議をし、要望について検討をする。まずグラウンド内の整備を推進する。



旧青蓮寺清掃工場隣接のグラウンド

施設利用者増の施策
答弁 目標値を決め啓発

Q 現在、入館料を徴収している文化施設は、国史跡夏見庵寺展示館、県史跡名張藤堂家邸であるが、入場利用者数が減少傾向にある。明確な目標数値をたて、来場者増の施策を考えたべきである。

A 全国にインターネット配信をしており、広報なばりなどで市民に啓発をしている。今後、入館者数の目標値を定め、市民に周知徹底を図るとともに、小中学校へは、遠足、校外学習などで利用・活用できる施策を検討し、実施に向け取り組む。

「心風堂」幸松孝太郎
行政評価の改善要望
答弁 評価基準を改善

Q 名張市における事務事業の評価と施策評価の基準が不明確で不透明だ。審査制度における市民の意見や参加が少ない。より充実を図ることが必要だ。

A 事務事業評価並びに施策評価は、担当部局での自己評価に取り組んでいるが、事務事業の貢献度や施策の進捗状況など、評価に当たって一定の評価基準を設けることも含め、改善していく必要がある。今後庁内に評価委員会を設置して成果重視の施策を展開したい。審査制度の充実を図るため、多くの市民の参加やご意見をいただけるよう、地域づくり組織などに呼びかけるなどさまざまな工夫をしていきたい。

防災・減災の提案
答弁 被害軽減対策を実施

Q 名張市の防災・減災のまちづくりを実現するための提案として、減災の考え方とBCP(業務継続計画)の導入を図り、被害軽減のための対策を講ずることができるか。また危険区域のハザードマップ(地震・洪水・土砂災害)を早急に作成して、市民に啓発することが必要だ。

A 業務継続計画は、三重県BCPや他市の事例を研究して、作成に向けて検討している。危険区域などの被害想定として、平成23・24年度において、洪水および土砂災害ハザードマップを、15地域づくり組織単位で作成する。平常時から市民の皆さんに危険箇所を周知するためのマップを全戸配布するなど、減災も含めた被害軽減対策を実施していきたい。

「公明党」吉住美智子
HUG
答弁 全地域で研修開催

Q HUG(ハグ)とは、避難所運営訓練であり、避難所に見立てた学校の体育館や教室などの平面図に、避難者の性別や年齢などの情報を書いたカードを適切な場所に配置し、避難所運営を模擬体験するものだ。訓練を通じて住民同士の交流や、避難所運営に対する意識向上につながる。ことから、防災対策として取り組むべきだ。

A HUGは、避難所運営にかかるとさまざまな問題点の解決方法を学べる優れた訓練であると認識している。平成24年1月21日、名張市生活安全推進協議会防災部会研修として、各地域づくり組織に呼びかけ、HUG研修を開催する。今後は地域・施設管理者・学校・市職員の研修を実施し、広報に取り組む。



HUG(避難所運営訓練)

防災に女性の視点を
答弁 男女のニーズに対応

Q 東日本大震災での避難所では、間仕切り・女性の着替え場所・授乳スペースなどがないことが大きな問題となった。女性は、育児・介護・妊娠と、日常の生活に深くかかわっている。各部署が平時時から仕組みやシステムを共有し、責任を明確にするため、市の防災会議に女性を登用し、女性の視点で地域防災計画を見直すべきだ。

A 女性の視点を取り入れるため、関係機関に女性の登用を要請する。市内部での計画策定段階から女性を入れ、男女のニーズの違いに的確に対応できる避難所の運営計画やマニュアルを策定する。地域防災計画が、市民の安全を守る基本となることから、女性も含め幅広く積極的に意見を取り入れる。

その他の質問
三原淳子

Q 「バイオマスタウン」は、市民や三重大などの協力を得ながら進めてきた、

可決した議案

- 議案第74号 名張市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第75号 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び名張市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第76号 名張市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第77号 名張市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第78号 市道路線の認定について
- 議案第79号 平成23年度名張市一般会計補正予算(第5号)について
- 議案第80号 平成23年度名張市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について
- 議案第81号 平成23年度名張市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第82号 平成23年度名張市介護保険特別会計補正予算(第2号)について
- 議案第83号 平成23年度名張市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について
- 議案第84号 平成23年度名張市水道事業会計補正予算(第1号)について
- 議案第85号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 議案第86号 人権擁護委員の推薦について
- 議員提出議案第14号 国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書の提出について
- 議員提出議案第15号 防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書の提出について

A 県の新エネルギービジョンや、森林バイオマス利用方針の動向を見定め、国・県の制度や活用できる事業を探す。



木質ペレットストーブ

バイオマスタウン推進事業だが、国の補助が中止となり、予算がない。名張市の自然エネルギーの開発と、それに伴う雇用の創出を目指し、引き続き実行性のある事業計画を求める。

A 平成26年度までは利益剰余金の取り崩しで、赤字の見通しだが、27年度以降は累積赤字になり非常に厳しい。また、生活保護家庭などへの光熱費を含むライフライン(電気・ガス・水道)の助成は既に実施しており、二重の助成につながる。

A 水道事業において、今後の見通しの中で、生活保護家庭・身体障害者や要介護者のいる家庭に対する水道料金の軽減は無いのか。

Q 「水道料金の軽減」
森岡秀之
名張の豊富な地域資源を活用し、自然エネルギーの開発を進め、雇創出につなげていきたい。

A 過去には課税誤りがあったことは事実。課税件数が膨大で随時調査をしているが、パーフェクトではない。返還は要綱を定め10年。

A 過去には課税誤りがあったことは事実。課税件数が膨大で随時調査をしているが、パーフェクトではない。返還は要綱を定め10年。

Q 浦崎陽介
「固定資産税の実態」
テレビで、自治体の固定資産税の課税誤りについて報道があった。名張市に確認を行うと、ミスがないと回答。本当に課税ミスがなかったのか。他市について調査確認を行ったところ、課税漏れや本来の税額よりも多く課税が行われていた。税法上の時効は5年で、他の市町では10年さかのぼって返還しているところもあるが、名張市はどうか。

名張高校生との意見交換会



議会広報特別委員会は平成23年11月17日、名張高校3年生のプレゼンテーション技術講座を受講する生徒6人と「なばり市議会だより」について意見交換を行った。

生徒からのプレゼンテーションや意見交換では、「市民目線ではなく、議員目線で作成しているのではないか」「市議会だよりと広報なばりとの違いを知らなかった」「白黒印刷よりもカラー印刷のほうが良い」「インターネット配信については紙面より詳細な記事であれば良いと思う」「今日の提案を少しでも受け入れて、議会が変わってくれたらうれしい」など、10代の目線から率直な意見を得ることができた。

当委員会で今回の意見交換を踏まえ、さらに幅広い年齢層や女性からの意見などを集約できる機会を作り、今後のなばり市議会だよりによりに生かすようにしていきたい。

表決が分かれた案件

会派・議員名 議案番号など	無会派			日本共産党			清流クラブ			公明党					心風会			清風クラブ		
	浦崎	三原	橋本	豊岡	高田	田合	富田	細矢	吉住	石井	幸松	森脇	永岡	川合	柳生	常俊	森岡	吉田	山下	
議案第76号	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長 福田博行(会派:清風クラブ)は採決に加わりません。 ○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員

インターネットで会議録を見ることができます

名張市議会、名張市議会事務局(市役所ホームページ内)のホームページからアクセスできます。<http://www.city.nabari.lg.jp/gikai/>

おことわり

議員からのお祝い金など寄付行為につきましては、公職選挙法により禁止されています。皆さまのご理解をお願いします。

ご意見・ご要望をお待ちしています

議会広報特別委員会(議会事務局 ☎63-7835)



議会の日程(予定) ※日程を変更する場合があります。

開会時間は午前10時からです。ぜひ、傍聴にお越しください。一般質問はケーブルテレビで放映されます。

3月 1日(日) 開会	13日(四) 予算特別委員会(総務企画委員会所管分)
6日(四) 一般質問	14日(金) 予算特別委員会(教育民生委員会所管分)
7日(金) 一般質問	15日(土) 予算特別委員会(産業建設委員会所管分)
8日(土) 一般質問	16日(日) 総務企画委員会
9日(日) 補正予算	19日(水) 教育民生委員会
12日(水) 当初予算	21日(金) 産業建設委員会
	26日(日) 採決

【訂正】前回発行(11月6日発行、No.62号)の市議会だよりの内容の一部誤りがありましたので、訂正してお詫びします。

7ページ「表決が分かれた案件(第348回定例会)」の議案番号について 正:請願2号(誤:議案2号)